

平成29年度第3回秦野市廃棄物対策審議会概要

- 1 日時 平成30年3月23日（金）午後2時～2時50分
- 2 場所 秦野市役所本庁舎4階議会第1会議室
- 3 出席者 13名
- | | |
|---------------------|----------|
| 東海大学 早稲田大学 中央学院大学講師 | 原田 一郎 氏 |
| 秦野市自治会連合会 | 橋本 日出夫 氏 |
| 東海大学教養学部人間環境学科准教授 | 小栗 和也 氏 |
| 多摩大学グローバルスタディーズ学部教授 | 橋詰 博樹 氏 |
| 東京地方税理士会平塚支部 | 草山 美博 氏 |
| 秦野市商店会連合会 | 中島 正彦 氏 |
| イオンモール株式会社 | 横倉 実可 氏 |
| 神奈川県宅地建物取引業協会 | |
| 湘南中支部秦野地区 | 石田 岳志 氏 |
| 秦野市農業協同組合 | 熊澤 淳子 氏 |
| 秦野市食生活改善推進団体 | 古谷 典子 氏 |
| 公募市民 | 小林 裕子 氏 |
| 公募市民 | 大塚 満津子 氏 |
| 公募市民 | 松岡 守 氏 |

4 諮問

秦野市ごみ処理基本計画に掲げた目標達成のため本市が取り組むべき施策の具体化に向けた検討について

5 議事

(1) 専門部会の設置について

諮問に係る所掌事務の決定並びに部会長及び部会委員の指名

(2) 秦野市災害廃棄物等処理計画案の答申内容について

ア 委員からの意見1（資料2、3）

資料3の18ページ、表16の協定先は、長野、岩手、新潟とあるが、もっと他にないのでしょうか。もっと多くの自治体と協定を結んでおいた方がよいのではないのでしょうか。

イ 意見1に対する事務局からの回答（資料2、3）

表16にある自治体間の協定は、防災課が所管していますので、今後、防災課と調整していきます。

ウ 委員からの意見 2（資料 2、3）

資料 2 の 7 に、建築物石綿含有建材調査者によるアスベストの調査とありますが、解体には常にこうした資格をもった人が立ち会うということですか。

エ 意見 2 に対する事務局からの回答（資料 2、3）

建築物石綿含有建材調査者という国家資格で、市で解体業務を発注する際には、こうした資格を持った者が、解体前にアスベスト調査を行うことを仕様書に盛り込むこととなります。

オ 委員からの意見 3（資料 2、3）

こうした資格を持った人が秦野市内にどれくらいいるか把握していますか。

カ 意見 3 に対する事務局からの回答（資料 2、3）

人数までは把握できていません。

キ 委員からの意見 4（資料 2、3）

大きな課題として、1 災害廃棄物の処理体制については、長期的目標である大正型関東地震の被害想定に対応できるよう、引き続き、人員、車両、仮置場、仮設トイレ等の確保に努めること、2 大規模災害が発生した場合、初動対応が重要となってくるため、迅速な対応による早期の復旧・復興が図れるよう、詳細なマニュアルの整備に取り組むこと、3 平時から災害廃棄物の処理体制及び協力・支援体制の強化に努め、計画を随時見直すこと。この 3 つは、計画の最も重要課題だと思いますので、しっかりと取り組まれるよう要望として答申に盛り込みたいと思いますがいかがでしょうか。

ク 委員からの意見 5（資料 2、3）

「長期的目標である」とすると活動を弱めてしまうことにならないでしょうか。

ケ 委員からの意見 6（資料 2、3）

長期的だから、緊急性がないことにならないよう「長期的目標である」を削除でよいでしょうか。

（了承）

コ 委員からの意見7（資料2、3）

防災との連携が必要になってくると思います。その中でも自治会との連携は大事になってくるので、自治会との連携の強化についても要望として盛り込んでいただきたい。

サ 委員からの意見8（資料2、3）

計画全体として、非常に大きい災害だけに焦点が当たっている感じを受けます。そういった意味で、要望の3つめに、大規模災害だけでなく、それに準ずる規模の災害も含めて計画を随時見直すといったことを入れていただいた方がよいと思います。

(3) その他

答申予定について

6 その他

来年度の審議会の開催予定について説明